

# 伊万里市財務4表の概要 (平成22年度)

## 新地方公会計制度

現在の地方公共団体の会計は、現金主義・単式簿記に基づいており、その年度の現金収支を把握するのに適していますが、これまで積み上げてきた資産や借入金などの負債についてのストック情報、行政サービスにかかったコスト情報などが不足しており、総合的な財務情報を把握するには向いていません。  
伊万里市では、平成21年度決算から、発生主義・複式簿記の考え方を取り入れた「基準モデルの簡易作成法」に基づき財務書類を作成しています。

## 対象となる連結の範囲

新地方公会計制度においては、伊万里市全会計のほか、他の自治体との一部事務組合などの関連団体も含めた連結の財務諸表を作成することが求められています。

### 【普通会計】 一般会計

### 【単体会計】

- 国民健康保険特別会計
- 介護保険特別会計
- 立花台地開発事業特別会計
- 公共下水道事業特別会計
- 農業集落排水事業特別会計
- 市営駐車場特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 水道事業特別会計
- 工業用水道事業特別会計
- 国民健康保険病院事業特別会計

### 【連結会計】

- 伊万里・有田地区医療福祉組合
- 伊万里市土地開発公社

※連結財務諸表作成のための資料が不足しているため、以下の会計は連結していません。

佐賀県市町総合事務組合、伊万里・有田地区衛生組合、佐賀県後期高齢者医療広域連合、佐賀県西部広域環境組合

## 市民一人あたり

※平成22年3月31日現在の人口、57,754人で算出しています。

### 貸借対照表

	H21		H22		負債	H21		H22	
	普通会計	連結会計	普通会計	連結会計		普通会計	連結会計	普通会計	連結会計
資産	175	298	172	294		47	116	47	114
					純資産	128	182	125	180

### 行政コスト計算書

	H21		H22	
	普通会計	連結会計	普通会計	連結会計
1. 経常費用計(総行政コスト)	34	55	33	55
2. 経常収益計	1	6	1	7
純経常費用(純行政コスト)(経常費用-経常収益)	33	49	32	48

## 貸借対照表

年度末において、市が所有している財産(資産)をどのような財源(負債・純資産)で確保してきたかを一覧にしたものです。表の左側(借方)の資産は、市が所有している財産の内訳で、行政サービスの提供能力を示しています。表の右側(貸方)の負債は、市の債務の内訳を示し、将来の世代の負担で返済していくものです。純資産は、資産を所有するために現在までの世代が負担してきた金額で、資産と負債の差額となっています。  
(資産合計 = 負債合計 + 純資産合計)

資産	借方				貸方				
	H21		H22		H21		H22		
	普通会計	連結会計	普通会計	連結会計	普通会計	連結会計	普通会計	連結会計	
1. 金融資産					1. 流動負債				
現金や基金等現金化することが可能な資産					①公債(短期)	1,979	3,756	2,022	3,788
①資金	650	5,695	685	3,723	翌年度の市債返済予定額				
②金融資産(資金以外)	4,715	6,159	4,096	5,297	②その他(未払金等)	610	3,192	724	2,112
合計	5,365	11,854	4,781	9,020	合計	2,589	6,948	2,746	5,900
2. 非金融(公共)資産					2. 非流動負債				
道路、橋、公園、学校、庁舎等					①公債	18,975	54,012	18,872	53,500
①事業用資産	34,899	37,228	35,068	37,637	②その他(借入金、引当金等)	5,587	6,452	5,507	6,499
②インフラ資産	61,484	124,103	59,657	123,297	合計	24,562	60,464	24,379	59,999
③繰延資産	0	0	0	0	負債合計	27,151	67,412	27,125	65,899
合計	96,383	161,331	94,725	160,934	純資産				
資産合計	101,748	173,185	99,506	169,954	支払済の正味資産	74,597	105,773	72,381	104,055
					負債・純資産合計	101,748	173,185	99,506	169,954

(単位:百万円)

## 資金収支計算書

> 1年間の資金の増減を「経常的収支」、「資本的収支」、「財務的収支」に区分し表示したものの。

科目	H21		H22	
	普通会計	連結会計	普通会計	連結会計
期首資金残高	331	6,012	650	5,696
1. 経常的収支(②収入-①支出)	1,071	3,367	1,472	3,018
①経常的支出	19,035	32,401	18,184	30,930
②経常的収入	20,106	35,768	19,656	33,948
2. 資本的収支(②収入-①支出)	△ 446	△ 3,803	△ 999	△ 3,243
①資本的支出	1,436	5,134	1,989	4,378
②資本的収入	990	1,331	990	1,135
基礎的財政収支(経常的収支+資本的収支)	625	△ 436	473	△ 225
3. 財務的収支(②収入-①支出)	△ 306	119	△ 438	△ 1,748
①財務的支出	2,534	5,465	2,359	5,912
②財務的収入	2,228	5,584	1,921	4,164
当期資金収支額(1+2+3)	319	△ 317	35	△ 1,973
期末資金残高	650	5,695	685	3,723

(単位:百万円)

## 行政コスト計算書

> 1年間の行政運営コストのうち、福祉サービスなどの提供といった資産形成に結びつかない行政サービスに要したコストを人件費、物件費、業務関連費用、移転支出に区分して表示したものの。

科目	H21		H22	
	普通会計	連結会計	普通会計	連結会計
1. 経常費用計(総行政コスト)	19,927	32,075	19,262	31,614
①人件費	4,847	6,136	4,784	6,107
②物件費	3,203	4,141	1,835	2,808
③業務関連費用	2,144	3,523	2,238	3,807
④移転支出	9,733	18,275	10,405	18,892
2. 経常収益計	621	3,744	693	3,808
①業務収益	334	3,374	325	3,343
②業務関連収益	287	370	368	465
純経常費用(純行政コスト)	19,306	28,331	18,569	27,806

(単位:百万円)

## 純資産変動計算書

> 純資産(これまでの世代が負担して蓄積された資産)が平成22年度中にどのように増減したかを財源の変動、資産形成充当財源変動、その他純資産の変動に区分し表示したものの。

科目	H21		H22	
	普通会計	連結会計	普通会計	連結会計
前期末残高	76,675	106,917	74,597	105,773
1. 財源変動の部(ロ-イ)	574	△ 796	△ 92	△ 1,084
イ. 財源の使途	23,140	37,429	23,065	37,435
①純経常費用(純行政コスト)	19,306	28,331	18,569	27,806
②固定資産形成	926	4,647	1,410	4,125
③その他	2,908	4,451	3,086	5,504
ロ. 財源の調達	23,714	36,633	22,973	36,351
①税込・社会保険料	7,924	10,420	7,868	10,318
②補助金等の移転収入	11,368	19,902	11,076	19,737
③その他	4,422	6,311	4,029	6,296
2. 資産形成充当財源変動の部(イ+ロ+ハ)	△ 2,653	△ 348	△ 2,124	△ 634
イ. 固定資産の変動	△ 2,184	163	△ 1,740	△ 256
ロ. 長期金融資産の変動	△ 468	△ 510	△ 403	△ 393
ハ. 評価・換算差額等の変動	△ 1	△ 1	19	15
3. その他の純資産変動の部	1	0	0	0
当期変動額合計	△ 2,078	△ 1,144	△ 2,216	△ 1,718
当期末残高	74,597	105,773	72,381	104,055

(単位:百万円)

..... 貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書の財務書類の相互関係を表しています。